大分県議会議員　木田　昇

南蛮 BVNGO 交流館（大分市）

たけのこ

第36号 県議会広報
2023-春号
発行
大分県議会県民クラブ
大分市大手町 3-1-1
TEL：097-506-5088
FAX：097-538-0136
https://kenmin-club.com/
題字：草刈樵峰

2023年　第1回定例県議会

ポストコロナ社会の安心づくり
未来を創る人材の確保・育成
広瀬県政を締めくくる県議会

二月二十七日に開会した第一回定例県議会は、三月十七日に上程議案の採決が行われ、十九日間の会議日程を終えました。

今回審議された新年度の一般会計当初予算は、県知事選挙を控え、「骨格予算」として編成されています。今議会は、二十年間の広瀬県政の締め括りとなる県議会でした。

最終的な本年度の「本格予算」は、新しく大分県の舵取り役として選ばれた佐藤樹一郎知事が編成し、その内容は新たに構成された県議会が審議することとなります。

■二十年間を振り返り

今議会の冒頭、今期をもって知事の役目を終える広瀬知事から、「二十年間の振り返り」として思いが述べられました。

「県民中心の県政」を基本姿勢に、県民の心を心として、これまで「安心・活力・発展の大分県づくり」に全力を傾けてきた二十年間の取組が語られ、結びに「本県を取り巻く環境は、これからも様々に移り変わっていくものと思いますが、県民一丸となって力を合わせ、明るい未来を切り拓くことを切に願っています。」と締め括られました。

■時代の節目を迎え、新たな大分県づくりに向けて

変化の激しい時代にあって、かつ、少子高齢化、人口減少は想定を上回るペースで進んでいます。こうした厳しい状況下でも、より豊かな生活を県民に提供できるよう「大分県版地方創生」により一層に力を入れていかなければなりません。

大分県政は大きな時代の節目を迎えました。夢と希望があふれ、安心で心豊かに暮らすことのできる新たな大分県づくりに邁進せねばなりません。

県議会３期目へ

3回目の当選証書を拝領

たいへん厳しい道程でしたが、新時代を迎える県議会へ引き続き参画することができました。

加速化する人口減少への対策はもちろん、物価・エネルギー高のなか、ポストコロナを見据えた経済活性化を図り、大分の魅力・活力をさらに発展させなければなりません。

人と人とが支えあう温もりある社会を守り、暮らしに笑顔ある未来への大分のため、これからも研鑽・努力してまいります。

お力添えいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

佐藤県政が誕生

５期20年続いた広瀬県政の後、新たに佐藤県政がスタートすることとなりました。

新知事の初仕事は、「骨格予算」に対し「肉付予算」を編成することです。また、全県下で新たに選出された43人の県議会議員の初仕事は、その「肉付予算」を審議することです。

私は、２期８年間で県政における諸々の課題を分析・検証してきました。各事業の進め方や予算執行のあり方等、これまでの経験も踏まえ、しっかりと新知事に対し意見を申していきたいと思います。

2023年度当初予算と事業概要

１．健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県

1. 子育て満足度日本一の実現（21事業）

①伴走型出産・子育て応援事業

全ての妊産婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、妊娠届出時から伴走型相談支援の充実や妊娠・出産を届け出た妊産婦・子育て世帯へ経済的支援を行う市町村に対し助成する。

・妊娠届出時に５万円、出生届出時に５万円を給付

【1，027，388千円】

2. 健康寿命日本一の実現（15事業）

①歯科口腔保健推進事業

生涯にわたる歯と口腔の健康づくりを推進するため、乳幼児期から高齢期まで、各ライフステージの特性に応じた全世代の歯科口腔保健対策を実施する。

・県口腔保健支援センターの設置・運営
・障がい児者の高次歯科診療の充実に要する経費への助成など

【19，812千円】

3. 障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進（7事業）

①障がい者工賃等向上支援事業

就労継続支援事業所利用者の工賃・賃金向上を図るため、民間主導の共同受注体制の構築を支援するとともに、生産性向上、販路拡大に取り組む事業所を支援する。

・就労継続支援Ａ型事業所に対する専門家による経営指導等の実施
・農業に取り組む事業所へのアグリ就労アドバイザーの派遣など

【21，267千円】

4. 多様な主体による地域社会の再構築（5事業）

①地域共生社会構築推進事業

だれもがともに支え合い、人と人とのつながりを感じ安心して暮らせる地域共生社会の実現を図るため、地域住民の複合的な課題等に対応できる体制の構築やバリアフリーの推進などに取り組む。

・市町村の重層的支援体制構築に要する経費への助成（補助率 ３／４）
・多世代交流・支え合い活動への助成（補助率 １０／１）

＊限度額　研修・広報　５０万円
　　拠点整備　５０万円
　　推進人材の配置　１５０万円

【98，791千円】

２．いきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県

1. 活力と変革を創出する産業の振興（27事業）

①ＤＸの推進・先端技術の活用関連事業

産業、暮らし、行政など多様な分野でＤＸを推進するとともに、地域課題の解決を図り、変革の波を起こし、新たな構造改革に繋げていくため、ＡＩ、ドローン等の先端技術に挑戦する。

・１３３事業　【4，695，706千円】

2. いきいきと、多様な働き方ができる環境づくり（5事業）

①ふるさと大分ＵＩＪターン推進事業

本県へのＵＩＪターンを促進するため、移住相談員の配置をはじめ、移住相談会を実施するほか、市町村と連携し、安心して移住できる地域づくりや移住者への居住支援等に取り組む。

・移住支援活動に取り組む団体への助成（限度額 ６０万円）
・県外からの移住者への支援金等の給付
　子育て世帯（限度額 ３０万円）
　その他　（限度額 ２０万円）

【176，821千円】

※裏面に続く

3. 活力みなぎる地域づくりの推進（2事業）

①地域活力づくり総合補助金

地域活力の維持・発展を図るため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援する。

・地域創生枠（補助率 1／3～1／2以内 限度額 3,000万円）＊特認 5,000万円

※支援期間 最長3年

・空き家ビジネス活用支援枠（補助率 2／3以内 限度額 300万円） 【250,000千円】

3. 人を育み基盤を整え発展する大分県

1. 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造（24事業）

①未来を創るGIGAスクール推進事業

小・中学校での主体的・対話的で深い学びを推進するためICT活用による授業改善等を実施するとともに、中山間地域等における遠隔教育を行う。

・個別最適な学びを実現するためのAIドリル等の導入

・中山間地域等の小規模校における遠隔教育の実施 など 【16,153千円】

②県立高校未来創生事業

魅力ある高校づくりや地域とともにある学校づくりを進めるため、学科改編に伴う新たな授業展開に取り組むほか、全国募集やコミュニティ・スクールの導入を実施する。 【42,655千円】

3月補正予算の事業概要

今回の第1回定例会にて、2023年度の補正予算を審議し議決しました。

内容は、国の補正予算を積極的に受け入れるとともに、足下の燃料費の高騰など社会情勢の変化に迅速に対応し、地域課題の解決と県経済の活性化等に取り組むこととなっています。

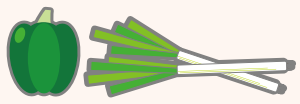
＜施策の概要＞ ※事業費は補正後の累計額

1. 園芸品目等広域流通体制整備事業

生産拡大を図るねぎ、ピーマンなど園芸品目の流通体制を強化するため、コールドチェーンの拡充に向けた広域集出荷施設の整備を支援する。

・大分青果センター予冷庫拡張整備への助成

【957,691千円】



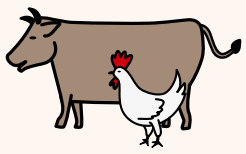
2. 畜産クラスター関連事業

地域内連携による畜産経営体の収益力向上を図るため、畜産クラスター計画に基づく畜舎等の整備に対し助成する。

・肉用牛競争力強化対策事業（1か所、畜舎68頭分）

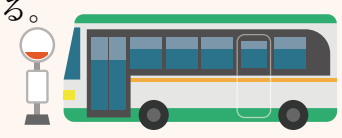
・県産鶏肉鶏卵振興対策事業（1か所、鶏舎88,000羽分）

【559,344千円】



3. 地域公共交通燃料高騰緊急支援事業

コロナ禍による影響に加え、燃料費高騰により厳しい経営状況にある地域公共交通事業者を支援するため、乗合バス等の運行に必要な経費について期間を延長して助成する。



・補助対象

各燃料費の県内市場価格（各月平均）と過去3年平均の差額×3／4

乗合バス 軽油車 20円／L上限

タクシー LPG車 5円／L上限

GS車、軽油車 20円／L上限

・対象期間

令和5年9月30日まで

【258,239千円】

4. 貨物自動車運送業燃料高騰緊急対策事業

原油高騰による貨物自動車運送事業者の経営への影響を緩和するため、荷主側に対して燃料サーチャージ導入に向けた取組を行う事業者にエコタイヤの購入費の一部を助成する。

・補助対象 通常タイヤとエコタイヤの差額

・限 度 額 1事業者当たり10万円

・対象期間 令和5年2月17日～9月30日

【53,800千円】

5. 観光誘客緊急対策事業

コロナ禍の影響を受けた観光関連産業を支援するため、「全国旅行支援」の割引原資等の増額を行う。

・割引率20％

（上限額） 交通付き商品 5,000円

その他商品（日帰り旅行含む） 3,000円

・クーポン券 平日最大 2,000円

休日最大 1,000円

【6,507,001千円】

防災士 木田昇の 防災メモ

－地震発生時、自宅に潜む危険－

リビングやキッチンで注意が必要なのは、背の高い家具の下敷きになること、窓や照明器具などのガラスの飛散や棚からの物の飛び出しなど。揺れを感じたら即座にそれらを避けられる場所に移動します。

揺れが収まったら、ケガをしないよう底の厚いスリッパなどで足を保護して移動します。まずは、ドアを開けて避難経路を確保しておきましょう。調理中の場合は、身を守ることを最優先に考え、火の始末は揺れが収まった後に慌てずに対処・処置します。

地震発生が夜の場合、停電して真っ暗闇になる可能性もあります。懐中電灯を普段から準備しておきましょう。

万が一、屋内に閉じ込められて助けを呼ぼうと大声を出し続けると、体力を消耗して命の危険があります。硬いものでドアや壁を叩くなど大きな音を出して周りに生存者がいることを知らせます。

最近の活動

1月

▷大分政経懇話会1月例会「2023年の経済展望～どうなる景気と物価」（共同通信社経済部長 春木和弘 氏）

▶大分県東九州新幹線整備シンポジウム

大分県は東九州新幹線と豊予海峡のどちらを望むのか県民全体で議論すべきとの意見が示される。大分と博多を結ぶ新ルートも提案。

▷ホーバークラフト旅客ターミナル起工式（大分空港側）

▷こうざき海岸清掃ボランティア

▷新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

2月

▶公益財団法人大分県スポーツ協会表彰式

国内外で活躍する県出身アリストの栄誉を讃える県スポーツ協会表彰式へ県ライフル射撃協会会長として参列。ライフル射撃種目では誇らしいことに4名（うち一人は2部門で表彰）が受賞。

▷連合大分「政策制度委員会・議員懇談会」

▷大分政経懇話会2月例会「地域の足・大分の鉄道は今後どのように変わっていくのか」（鉄道ジャーナリスト 梅原淳 氏）

▶知事による当初予算案説明

広瀬知事による最後の当初予算案が各会派に示される。「骨格予算」とは言え、コロナ対策や防災・減災対策、子育て支援等の喫緊の課題に対応した内容が盛り込まれる。

▷第1回定例県議会開会

3月

▷連合大分春季生活闘争総決起集会

▶春闘街頭宣伝行動（大分駅前）

日本の賃金水準は先進国の中で低位にある。最低賃金の平均額はオーストラリアの半分以下。長引くコロナ禍、物価・エネルギー高のなか、世界に遅れることなく賃金引上げを実現しなければならない。

▶第1回定例県議会閉会

任期最後の県議会にあたり、知事と全議員とで記念撮影。広瀬知事をはじめご勇退なされる先輩・同僚議員の県政発展に対するご尽力に敬意を表し心から感謝を申し上げます。

▷大分県知事選挙、大分県議会議員選挙告示

公式LINEはコチラ

木田昇の議会・政務活動を随時更新中。

ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！

＊QRコードからお友達登録をよろしくお願いします。

県民クラブHPはコチラ
https://kenmin-club.com/

竹の子記

この度の統一地方選挙を通じ、新たな県のトップリーダーが選ばれ、県議会も新たなメンバーで構成されました▼国政は議会で多数派を占める与党の会派から行政のトップ（総理大臣）が選出される（議院内閣制）のが慣例ですが、地方は首長と議員が別々の選挙で選出される二元代表制が採られています▼よって、地方では国政における「与党」、「野党」のような関係が基本的には存在しません。首長と議員が別々の選挙で選ばれるということは、それぞれが住民を代表する立場にあるということです▼但し、知事は一人ですが、私ども大分県議会は四十三人で構成されています。考えの違いはあるにせよ、いざという時はその違いを乗り越えて議会が一体となってこそ知事と対等の議論ができるものと考えます。議会は知事と緊張関係を持ちながら、各種施策の執行状況をつぶさに監視し、積極的に政策提言に努めなければなりません▼選挙は終わりましたので、ノーサイドです。議員もお互い切磋琢磨してより良い県政の推進に取り組もうではありませんか。いよいよ新たな大分県のスタートです。明るく希望ある大分県の将来像を木田昇なりの絵を描いていきたいと心新たにしております。